

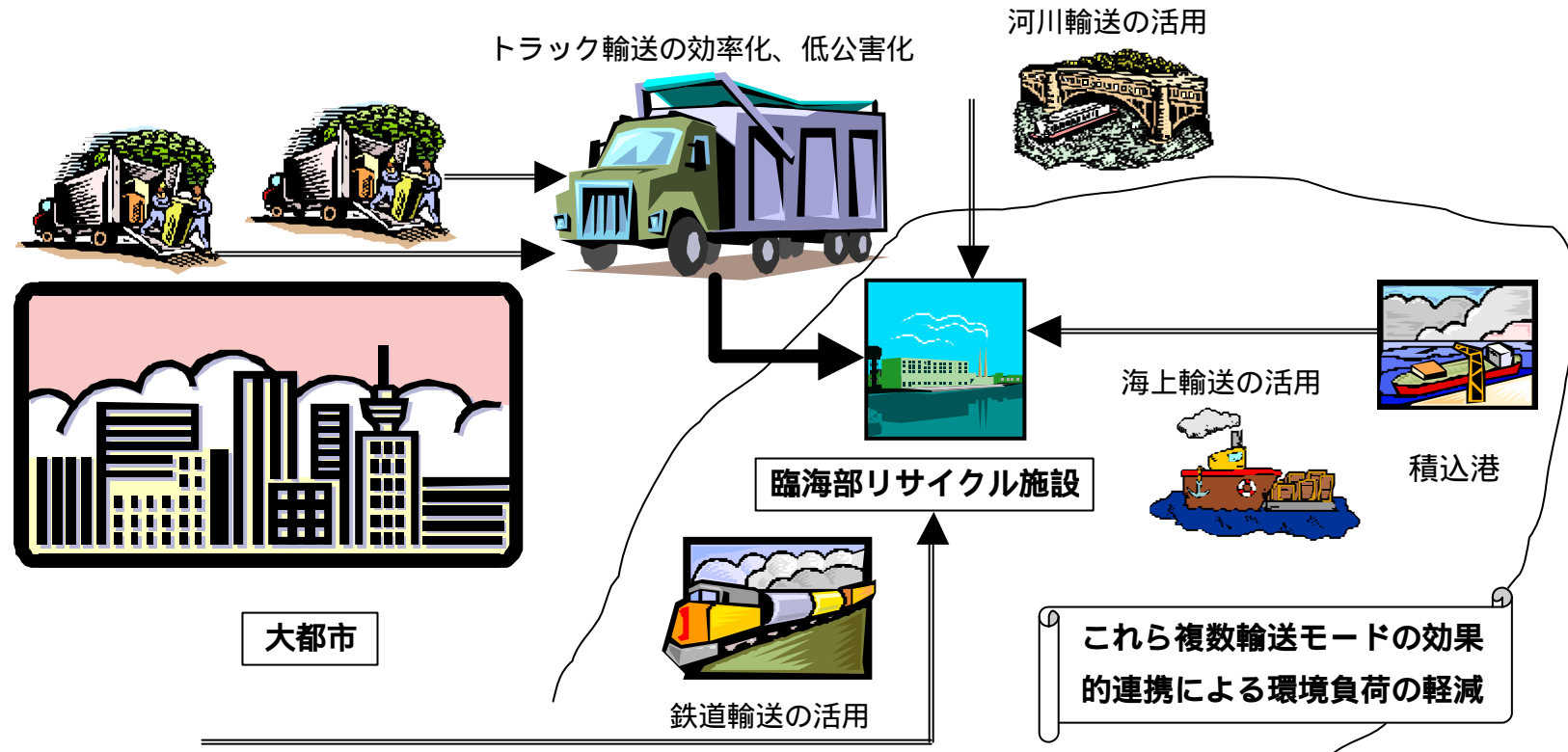
ゴミゼロ型都市形成のための静脈物流システムの構築

基本的考え方

都市再生本部及びゴミゼロ協議会における議論を踏まえ、臨海部の広域リサイクル施設立地を核として、トラック輸送の効率化・低公害化や鉄道・海上・河川輸送の活用等を図るとともに、リサイクルの拠点となる港湾による静脈物流ネットワークを形成することにより、環境負荷軽減型の静脈物流システムを構築し、ゴミゼロ型都市の形成を図る。

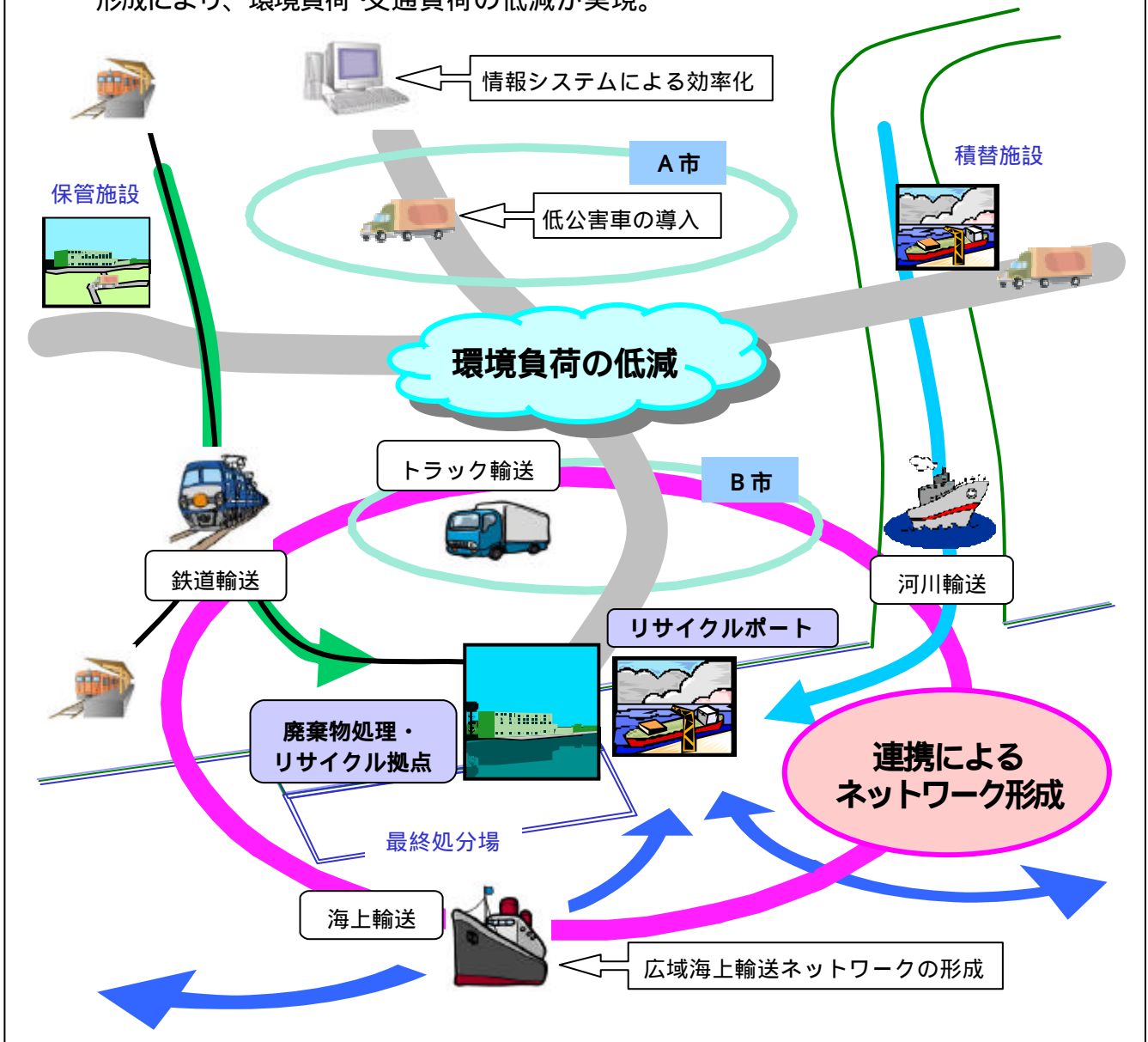
具体的な内容

地方自治体等広範な関係者の参画を得て、広域リサイクルのための静脈物流のシミュレーション、各種輸送手段を用いた広域リサイクル輸送のトライアル、リサイクル関係者に必要な情報システムの試行等を行い、環境負荷の小さい静脈物流システムのマスタープランを策定し、関係者の協力による具体化を推進する。



環境負荷の小さい効率的な静脈物流システムの構築 (イメージ)

トラックによるフィード輸送と組み合わせた鉄道・海運・河川舟運によるネットワーク形成により、環境負荷・交通負荷の低減が実現。



静脈物流システムの構築に向けた検討課題

静脈物流に関する現況の把握、実態把握調査のあり方
トラックと海運・鉄道・河川舟運の具体的な連携方策
トラック輸送の低公害化、効率化
広域海上輸送ネットワークの形成
効率的な施設整備・配置、安全輸送の確保、既存インフラの活用方策
情報交換システムの整備
廃棄物に係る諸制度の運用改善・見直し
総合的な静脈物流システムの導入による社会的便益の分析・評価

循環型社会実現のための静脈物流システムの構築

循環型社会の実現を図るため静脈物流の拠点となる港湾において、既存ストックを最大限に活用し、物流コストの低減及び環境負荷の軽減を主眼においた静脈物流システムを構築する。特に、大量のゴミの廃棄で処理の限界に至っている大都市圏においては、臨海部の低・未利用地等を最大限に活用し、新しい循環型の都市に再構築すべく、エコタウン事業と連携しつつ、総合的な静脈物流拠点の形成を図る。また、ゴミゼロ型都市形成のための静脈物流システムの構築に係る調査を実施する。

港湾のポテンシャル

- ・大規模なリサイクル処理施設の拠点的立地に必要な広大な用地の確保が容易
- ・物流基盤が既に整備（岸壁、臨港道路等）



循環型社会実現のための静脈物流システムの構築

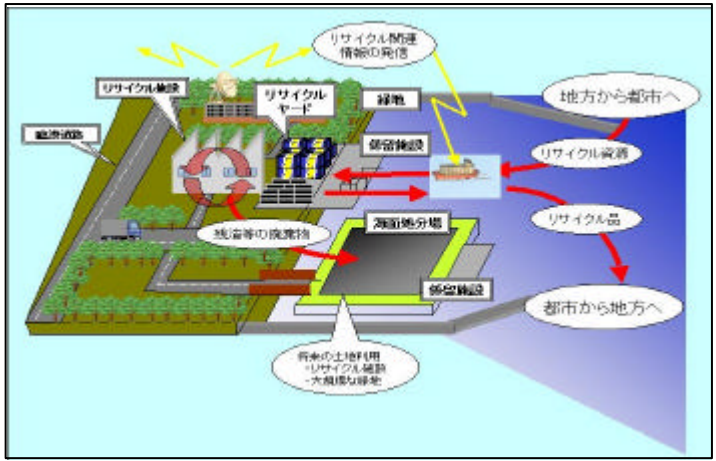
既存ストックを最大限に活用し、総合的な静脈物流拠点をブロック毎に拠点的に配置

海上輸送を活用した広域静脈物流ネットワークの形成

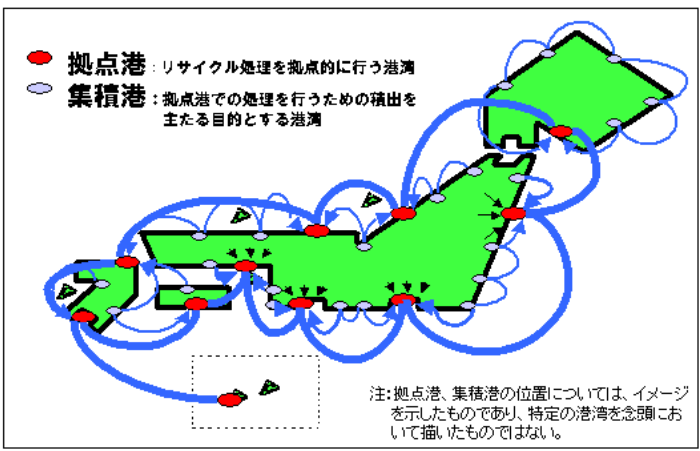


21世紀の新しいリサイクル 静脈産業空間として港湾を活用

総合的な静脈物流拠点の概念図
 大規模なリサイクル処理施設の集中立地、残さ処分のための廃棄物海面処分場、ストックヤード等の静脈物流基盤の整備を一体的に展開し、循環資源の収集・輸送・処理の総合的な静脈物流拠点を形成



広域静脈物流ネットワークの概念図
 静脈物流拠点を長距離大量輸送に適し低廉で環境にやさしい海上輸送により広域ネットワーク化し、収集・輸送コストの削減を実現



港湾を核とした総合的な静脈物流システムの構築により、リサイクル処理施設の拠点化と海運利用が進展すれば、リサイクルに要するコストは概ね 2割程度削減可能

廃棄物海面処分場の整備例

東京都新海面処分場



東京都で排出する廃棄物を処分するために整備を推進

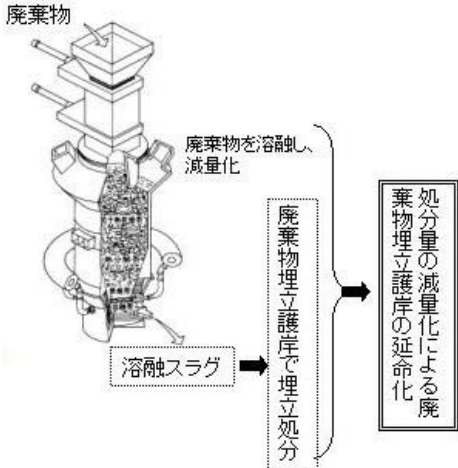
大阪湾において、近畿2府4県195市町村を対象とした広域廃棄物処分場の整備を推進



大阪湾フェニックス・堺泉北沖処分場

廃棄物海面処分場延命化施設の概要

廃棄物溶融施設の例



建設発生土処理施設の例

